

公表 事業所における自己評価総括表

事業所名	En.療育ラボ新宿スタジオ			
保護者評価実施期間	2026/2/1 ～ 2026/02/28			
保護者評価有効回答数	(対象者数)	72	(回答者数)	36
従業者評価実施期間	2026/02/01 ～ 2026/02/28			
従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
事業者向け自己評価表作成日	2026/03/01			

分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ご利用者様のニーズに合わせ、ABA療育を取り入れプログラムで活動をしていること。	・ご利用者様、ご家族のニーズを聞き出し、プログラムの中に課題を取り入れている。 ・ひとりのご利用者様に対しスタッフで情報を共有し、全員で取り組んでいる。	・ABA療育など研修を行いレベルを上げた活動を行っていく。 ・ご家族との面談の機会を多く作り、情報を更新していく。
2	・利用状況やご利用者様の様子を見ながら集団療育、個別療育をその場で判断し取り組んでいる。	・スタッフ全員が集団での対応もできるようにしている。	・スタッフひとりひとりの療育の質の向上を図る。
3	・療育道具が多く、学校体育に繋がるものも置いている。 ・ご家族の要望に合わせその都度療育道具の導入の検討を行っている。	・ご家族の要望を聞く機会を多く作り、何が必要かを常に考えている。	・道具を片づける場所の工夫や安全管理を徹底する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との連携、交流が少ないこと。	・ニーズとして重要視されていない。	・事業所の周りに目を向け、重要視すべきことに取り組んでいく。 ・ご利用者様のことを第一に考え、イベントなどの提案をしていく。
2	・来所時、退所時の安全管理。	・出入口が大通りに面し、自転車も多く通ることもあり、飛び出しの注意が必要。	・飛び出し防止のご利用者様の届かない位置に鍵をかけるなどの工夫をする。
3	・初めての来所の際にアプリで検索をすると大通り沿いではなく裏の出入り口に案内をされてしまう。	・事業所の入り口がマンションの出入り口とは違うため、わかりづらい。	・体験の受付の電話やメールで大通り沿いの出入り口と伝える。